

荒川区議会議員

「体は細いが、芯は太い」

# 清水ひろし



民主党・市民の会

からの手紙

平成 25 年 第 1 回定例会報告

荒川区議会平成 25 年第 1 回定例会が 3/14 に閉会し、新年度予算を含む 43 本の議案が可決成立しました。今定例会では本会議や予算委員会において質疑を行いました。予算執行にあたっては、区民が納得・満足の実感出来るよう適切に施策展開がなされているか注視をし、議会としての役割を果たして参ります。

## 基金残高の推移、ボール遊びの出来る場の確保について質疑 —本会議—

今回の本会議質問においては基金残高の推移について、各種対策本部の状況について、ボール遊びの出来る場の確保について等の質疑を行いました。



**質問**基金残高は平成 20 年度の 303 億円から減少傾向にあり、新年度見込みでは 145 億円となっている。とりわけ健康・福祉基金は実質的に取り崩したかたちとなる。今後の財政運営について見解を伺う。

**答弁**特養ホームの整備等に活用してきた。今後も施設の経年劣化による更新費用の拡大が見込まれるので、中長期的な財政見通しを勘案していく。

**質問**都の調査によると子どもたちの投力は低下している。千代田区ではボール遊びが出来る場を確保するために条例を定めた。現在、ボール遊びをする場がほとんどない区内の状況について見解を伺う。

**答弁**ボール遊びの出来る場を確保していきたい。近隣への理解や利用方法など解決していく。

## 保育園における健診の充実、旧真土小の今後について質疑 —予算委員会—

**質問**幼稚園と保育園では健診項目が異なる。幼稚園の眼科健診では約 1 割の児童が異常ありと診断されている。保育園では内科、歯科のみであるが、幼稚園同様に眼科、視力、耳鼻等の健診を行っていくべきではないか。

**答弁**保育園も幼稚園同様になされるべきだと考える。園長会・医師会と協議していく。

**質問**旧真土小・旧道灌山中は耐震性に問題があるため 3 月で利用が終わる。区は防災、地域の安全のために空き家対策を行っているなかで、利用出来ない区の施設を解体せずに残しておくことについてどう考えるのか。

**答弁**資産として活用されることを勘案すべきであると考えている。ただし、再開発の状況をみながら判断していきたい。

**意見**防災の視点、土地の有効活用の視点も必要である。また、日暮里もみじ橋も含め区は「耐震性に問題あり」と認識している。そういった建築物において崩落等がおきた際、自治体としてどう責任をとれるのか危惧される。区はこれから大きな公共施設建設を予定しているが、区民の理解を得られる建設・修繕・解体計画を示し、実行していくべきではないか。



## 864 億円、平成 25 年度予算が可決成立

区 分	25 年度	増減額・率
一般予算	864 億円	△10 億円・△ 1.2%
国保特会	255 億円	4 億円・ 1.8%
後期高齢者医療特会	43 億円	1 億円・ 3.1%
介護保険特会	160 億円	9 億円・ 6.5%
合 計	1323 億円	5 億円・ 0.4%
基金残高	145 億円	△61 億円
区債残高	203 億円	△20 億円

一般会計予算は前年度比 10 億円減の 864 億円となっています。歳入のうち特別区税は 3 億円増の 150 億円です。

歳出の目的別は民生費 482 億円 (55.7%)、総務費 116 億円 (13.4%)、教育費 86 億円 (10.0%)、土木費 58 億円 (6.7%)、環境清掃費 35 億円 (4.0%)、衛生費 29 億円 (3.4%)、公債費 28 億円 (3.3%)、産業経済費 20 億円 (2.4%)、議会費 6 億円 (0.7%) となっています。

### —平成 25 年度の主要事業—

#### 健康・福祉

**糖尿病対策事業** 医療機関と行政が連携し、予防から重症化防止まで一貫した対策を構築する。国保においてはレセプトによる医療分析を行い、糖尿病予防対象者に対して指導を行う。

**地域包括支援センターの増設** 10 月を目途に東日暮里 3 丁目ひろば場館 1 階 (東日暮里 3-8-16) 及び東尾久 3 丁目に新たに開設する。

#### 防災・防犯

**区内全避難所での避難所開設・運営訓練の実施**  
全町会が一次避難所において実施する。

**永久水利の整備** 大規模地震による延焼拡大を防止するため、隅田川の河川を活用する。

**木密地域不燃化 10 年プロジェクト** 都の先行実施地区となった荒川 2・4・7 丁目地区において推進する。

**防犯カメラによる地域の安全性向上** 町会が整備する際の補助、繁華街や区境での区による整備を行う。

#### 産業

**中小企業融資の充実** 普通融資限度額を引き上げ、返済期間を延長する。

#### 子育て・教育

##### 保育園・認証保育所の開設

夕やけこやけ保育園 (東日暮里 3-11-9)  
太陽の子わかば保育園 (南千住 5-44-16)

**就学前カリキュラムの策定** 保育・教育施設における乳幼児教育カリキュラムを策定する。

**放課後子どもプランの拡大** 大門小、二日小にて学童クラブと一体的に実施。合計 11 校に拡大。

**小中学校におけるタブレット PC の導入** 生徒 1 人に 1 台導入。新年度はモデル校 3 校にて実施。

**校庭の芝生化** 九峡小を全面芝生化する。

#### まちづくり・文化

##### 補助 193 号線の整備

**宮前公園の整備** スーパー堤防と一体となった親水空間を創出する。

**奥の細道サミット事業** 平成 26 年度に開催する「奥の細道サミット」に先立ちプレイベントを実施する。

清水啓史 (37 歳 昭和 50 (1975) 年 5/7 日生 卯年 A 型 おうし座)

寛永寺幼卒/根岸小卒/早中・早高卒/早大卒。民主党本部元職員  
平成 19 (2007) 年 荒川区議選初出馬初当選。平成 23 (2011) 年 2 期目当選。

現在は「民主党・市民の会」幹事長、民主党荒川区支部幹事長。  
議会では総務企画委員会、観光・文化推進調査特別委員会、議会運営委員会に所属。  
家族は妻と娘 (4 歳・平成 20 (2008) 年 12 月生)。

